

## 総評

数学と理科がたいへん難しく、全体の平均点も低めになりました。今回の学力コンクールは、小学校内容の復習でしたが、学習した内容を忘れてしまっていた人もいます。中学校の学習は、小学校の学習内容をより深めたり、くわしく考えたりする学習が中心で、これまで学習してきた内容はとても大切です。小学の教科書はしばらく手もとに置いておき、疑問点はすぐに調べるようにしましょう。

道コンのようなテストは、現在のみなさんの実力を測る道具であると同時に、自分の弱点に気づき、こくふくする機会でもあります。結果をぼんやりとながめるだけでは、せっかく受けたテストがむだになってしまいます。まちがえた問題を見直し、解き直して初めて、実力アップにつながり、受験した価値があるのです。

## 国語

標準的な出題でした。

㊦は、「往来」の読みと「破損」の書きが難しかったようです。小学校で習った漢字は確実に読み書きできるようにしておきましょう。㊧は、問四の得点率が低くなりました。「キャンセルができない」など、会話を読み違えていると思われる答案が散見されました。与えられた資料や会話をしっかり読み、流れにそってまとめることが大切です。指定形式にも注意しましょう。㊨は、問四が特に難しかったようです。「心情」とその「理由」を答える問いですが、「理由」のみを書いている答案が散見されました。問題文をよく読むことは基本中の基本です。㊩は、全体的に難しかったようです。問五、問六の得点率が特に低くなりました。たとえの表現や、具体例に注意しながら、もう一度読んでみましょう。

## 数学

たいへん難しい出題でした。「比例・反比例」や「データの調べ方」など、最近学習した内容の問題になれていない人が多かったようです。

①はどれも、必ず身につけたい基本的な問題です。まちがえたところはしっかり復習しましょう。

②～④は、規則性やデータの活用、図形など、中学校1年生の学習に直接つながる内容を中心に出题しました。易しくはありませんが、理解を深めることのできる問題ばかりです。中学校1年生の学習をスムーズに進めるために、間違えた問題は解説を読んでもう一度挑戦してみましょう。

⑤と⑥は応用問題です。重要なのは、問題の見方や考え方です。解説をよく読んで、考え方のパターンを増やしていきましょう。必ず実力アップにつながります。

## 社会

標準的な出題でした。

地理分野では、②問3「排他的経済水域と沖ノ鳥島」に関する問題で得点率が低くなりました。中学校では、どちらの内容も様々なパターンで出題されるので、どのような問題が出ても答えられるようにしましょう。

歴史分野では、④問1の「日米修好通商条約」に関する問題で得点率が低くなりました。条約の名前や内容に関する問題は中学校でもたくさん出題されるので、正確に答えられるようにしましょう。

公民分野では、⑤問3、問4で得点率が低くなりました。「国民の祝日」や「内閣の仕事」などは、あいまいにおぼえている人が多いのではないのでしょうか。まちがえた人は問題をよく見直しましょう。

## 理科

非常に難しい出題でした。5年生、6年生で学習した内容からの出題が大半でしたが、忘れてしまっていたり、学校が休みになったりした影響で、十分に身につけていなかったところもあったと思います。中学校で学習する内容には、小学校で学習した内容が基本となっていることが多くあります。まちがえたところはしっかりと復習しておきましょう。

①～④は、6年生で学習した内容でした。基本的な問題が多く出題されていましたが、得点率はさほど高くなりませんでした。⑤は、4年生で学習した内容が多かったので、忘れていた人も多かったと思います。⑥は、全体に得点できなかったようです。⑧は、思考して計算する問題が多かったこともあり、難しい出題となりました。

## 英語

全体としてやや易しい出題でした。比較的よく得点できていたと思います。英語の問題を解くことにも少し慣れてきたのではないのでしょうか。

小学校では英語を書くことについてあまり学習してこなかったという人も多いかもしれませんが、これから中学校で英語を学んでいくにあたり、英語を書くことは重要です。「読み」や「書き」にも積極的に取り組んでいくようにしましょう。

①問1 No.2は比較的易しい出題でしたが、できなかった人が多いようです。数や色が出題の中心になることはよくあります。「a (1匹の)」や「black (黒い)」が聞き取れたか、確認しておきましょう。

③(1)は得点率が最も低くなりました。Hereを書けなかった人が多いようです。スペルを復習しましょう。